

やいがい、いきがい。たかがい！～成熟社会を創る看護力～

たかがい 恵美子のマンスリー活動報告

参議院議員 高階恵美子事務所

東京都千代田区永田町2-1-1

参議院議員会館714号室

TEL 03-6550-0714 Fax 03-6551-0714

<http://www.takagai-emiko.net>

参議院においては、4月20日に国土交通及び防衛両大臣の問責決議が採択されて以降、政府の誠意ある対応がなされないまま時間が過ぎ、内閣改造を受けて本会議が開催されたのは47日後という異常事態にありました。今国会の会期も残すところわずかとなり、国会は日々刻々と揺れ動く攻防の渦中にあります。この間、国会の動きは鈍いものでしたが、たかがいは精力的に党の政務や地方訪問など様々な活動をさせて頂いております。今号はその活動の一端をご報告させて頂きます。

児童虐待ゼロに向けた提言

私は自民党女性局次長として党女性局の活動にも取り組んでいます。女性局では、昨年11月から「ハッピーオレンジ運動」と称して、児童虐待防止のための活動を展開しています。本活動の一環として昨年4月～8月に全国の街頭等において児童虐待や子育てに関するアンケート調査を実施しました。頂戴した14,539件という貴重な回答を、政策提言につなげるため、アンケートの分析作業を任せられました。統計学的な分析により、以下のような一定の結論を得ることができました。

- 子育て中の男女の約3割が子どもを虐待するかもしれないという不安を感じている。母親が就労中の家庭では父親の虐待不安が高く、父親が就労中の家庭では父親の虐待不安が低い。
- 虐待の不安を高める要因として、養育者の孤立、配偶者の協力不足、子どものしつけ、仕事と子育ての両立の不安の順に影響している。
- 虐待リスク要因のある者が期待する政策としては、産後の母親のケアの充実、妊娠時から出産、子育て時における相談窓口の整備、パパ育運動の推進、仕事と生活の調和の実現などである。

従来からの提言に、これらのデータに基づく新たな提言を追加し、次の総選挙公約とすべく政策提言としてとりまとめられました。これらの提言は5月31日新たに公表された「日本再起のための政策」にも盛り込まれています。

また、4月6日に開催された全国女性部(局)長・女性議員合同会議・政策研究会において、アンケートの分析結果と政策提言について講演させて頂きました。

将来のわが国を担う子どもたちが健やかに育つことのできる環境づくりのため、しっかりと取り組んで参ります。

国民の声を聞く活動

各都道府県看護連盟、党選挙区支部や女性局の研修会、視察、党の「ふるさと対話集会」など、様々な機会を通じて日本全国各地を訪問させて頂いております。

「ふるさと対話集会」は、党の議員が全国各地の様々な場所を訪問し、国民の生の声(なまごえ)をお伺いする活動です。ミニ集会のような形で車座になって、直接地域住民の方の声を聞きすると、参加者からは国政等に関する率直な意見・要望が次々に飛び出します。様々な国民の声を聞いて、問題解決を図るための政策を練り上げていく、まさに政治の原点に立たせて頂ける会合です。通算400回目となる記念すべき「ふるさと対話集会」が6月6日に兵庫県西脇市で開催され、参加させて頂きました。憲法改正、消費税増税、がれき処理など今回も多様な観点からのご意見をお伺いできました。

政策提案のプロセスとして、まずは実態をきちんと捉えることが重要です。実態把握が不十分なままでは実効性の高い政策を打ち出すことはできません。これからも、地道に全国各地を巡り国民の声を伺う活動を大切に参ります。



見逃すな 小さな叫び 小さな命

…… 自民党女性局は児童虐待ゼロを目指し、活動しています。……



☎ 0570-064-000

もしも?のときは児童相談所全国共通ダイヤルにお電話を。
個人情報保護されます。



自民党